

【教育目標】 **総合目標** 知性を磨き、心を見つめ、チャレンジする生徒



# チャレンジ☆アイ

- ◎自主性、創造性のある生徒(知育)
- ◎情操豊かな生徒 (徳育)
- ◎健康でたくましい生徒 (体育)

## 【2年総合×SDGs】～ファッションから考える持続可能な生活～

9月13日(火)の5・6校時に2学年の総合学習で「ファッションから考える持続可能な生活」の授業がありました。前回の「スマホから考える世界とわたしたち」に続く第2弾で、前回同様SDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」に関連した内容でした。今回は、NPO法人「沖縄NGOセンター」から奥山有希さんと玉城直美さんを講師にお招きし、講師のパソコンと各教室の電子黒板をオンラインでつないで授業を行いました。



授業では、まずはじめにアイスブレイクとして「ファッションに興味はあるか？」などの5つの質問について、教室の四隅に移動して意思表示を行うことでリラックスすると共に自分とファッションの関係について考えました。次に、5名の先生の「服の素材、メーカー、原産国」について調べたり、日本で売られている服の輸入割合や輸入元などに関するクイズや服が手元に届くまでの過程について考えたりする活動を通して、私たちが身に付けている服と世界のつながりなどについて考えました。また、映画「ザ・トゥルー・コスト ～ファストファッション 真の代償～」の予告編動画や、RBCニュースのSDGs特集から「つくる責任 使う責任」や「エシカルファッション(人と地球にやさしいファッション)」などについて考えました。



### 【生徒のふり返り】～新たな気づきや持続可能な生活のために出来ることなど～

- ◎ 洋服を作る人がこんなにも苦しい思いをしていることや、日本で作られている服が少ないこと、CO<sub>2</sub>をたくさん排出していることを知りました。これからは、服を即買いしないで、どんな原料が地球に良いのかなどをよく考えて買いたいです。携帯ではファッションの激安サイトがありますが、そのサイトの服もベトナムや中国などの人が作っていることを知ってほしいし、私も、自分が本当に欲しいのかなどを考えて買いたいです。(4組 迎結桜)
- ◎ 新しくエシカルファッションという言葉を知りました。地球環境に気をつけるために服を大切に扱いたいです。なので、大きめの服を買って長く使ったり、お下がりを使ったりしたいです。また、エシカルファッションに取り組んでいるお店はどれくらいあるのか、私がいつも使っているユニクロやGUはエシカルファッションに取り組んでいるのかなどを知りたいです。私ができることは、服を大切に扱うことや要らない服を買わない、衝動買いをしないことです。他の人に伝えることも出来ると思います。(4組 比嘉凜花)

### 【おまけ】映画『ザ・トゥルー・コスト』のアンドリュー・モーガン監督のことば

◎僕の世代はファストファッションで育ちました。服がどこから来てどこへ行くか考えることはしませんでした。作り手やその生活などなおさらです。◎ニューヨーク・タイムズを読んだ日のことは忘れません。ラナ・プラザ崩壊の翌日でした。(崩壊事故では)主要ブランドの服を作っている人々の命がつぶされ、燃やされました。◎服の製造という単純なことを考えもせずに生きてきました。どこで誰が作っていて、彼らの暮らしはどうか、服の製造は彼らにとって幸か不幸か。◎一つ一つ考えているうちに映画を作ることにしました。僕と同じくあまりに多くに人が疑問を抱いていないからです。(YouTubeより抜粋)

## 【一人一研究授業③】～ICT機器を活用し主体的に学び合う生徒の育成～

本校では、校内研究の一環として全ての教師が年間1回以上の公開授業を行う「一人一研究授業」を実施しています。最近、続々と公開授業の申込があり嬉しい悲鳴を上げています。今回も2名の先生方の授業を紹介します。

### ◎下地 貴之 教諭（1年3・4組 体育）

9月15日(木)の6校時に、体育館において下地貴之先生の1年3・4組(男子)の体育の授業がありました。今回は、器械運動(マット)で倒立前転の授業でした。

- ① 全体ミーティングで本時のねらい「自己の課題を発見し、解決に向けた話し合い、練習方法を工夫する。」と「自己や仲間の安全に留意して練習に取り組む。」の2点を確認しました。
- ② チームミーティングでチームの目標を確認し、その後チームごとにウォーミング・アップに入りました。
- ③ 授業本番の「倒立前転に挑戦」では、チームごとにタブレットPCで動画撮影をして自己の課題を把握したり、アドバイスし合ったりしました。また、お互いに倒立の補助をしたり、壁を利用して倒立の練習をするなど、自己の課題に向き合う姿が見られました。
- ④ チーム練習後、2回目のチームミーティングを行い個人及びチームの反省をしました。
- ⑤ 最後に、全体ミーティングで今日の授業の振り返りを行い、次の授業への見通しを持たせました

1年3・4組男子の皆さんは、下地先生の細かい指示がなくても、授業の順序や方法をよく理解し、自分たちで考え協力して授業に取り組んでいました。Very Good !!



### ◎宮城 さやか 教諭（1年5組 理科）

9月16日(金)の5校時に宮城さやか先生の理科の「一人一研究授業」がありました。今回は、「身のまわりの物質」という単元の「白い粉末の区別」という授業で、「白い粉末状の物質を区別する実験を行い、実験結果を性質の違いに着目して分類し、適切にレポートにまとめる。」という内容でした。授業のはじめに、「見ただけでは見分けにくい粉末状の物質の種類を知るにはどのようにしたらよいか。」という課題を確認し、4種類の「白い粉末」を見分ける実験をしました。A：白砂糖、B：デンプン、C：食塩、D：グラニュー糖の4つの白い粉末について、①粒のようすや手触り、②水へのとけ方、③熱したときの様子などを観察し、グループ内で写真を取りながら、協力して実験を進めました。時間が足りず、実験のまとめと考察は次の時間に持ち越しとなりましたが、1年5組の皆さんは、グループで協力して意欲的に実験に取り組んでいました。Good !

